

迎春

「皆様から愛される町 しらたかを目指して」

白鷹町長 佐藤 誠七



新年

明けましておめでとうござ
います。皆様におかれまし
ては、健やかに新春をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

昨年10月の白鷹町長選挙におきまし
ては、第3期目の町政を担わせていた
だくこととなり、新年を迎え、さらに
身の引き締まる思いであります。初心
にかえり、引き続き町民の皆様ととも
につくりあげる「共創のまちづくり」
の理念のもと、打てば響く町政運営に
全力で取り組んでまいります。

さて、今年、本町では災害に強いま
ちづくりの拠点となる「まちづくり複
合施設」の実施設設計を踏まえ、整備工
事に着手する予定であります。既存の
中央公民館及び役場庁舎につきまして
は、大地震で倒壊・崩壊の危険性が高
いとされており、ことから、その
対応は急務であり、中央公民館機能と
役場庁舎を併せた複合施設として整備
し、町民の皆様の安全・安心を確保し
てまいります。

さらに、木造となるこの複合施設に
町内産の木材を使用することで、林業・
木材産業の再生・振興を図るモデルと
するとともに、県が進める「森林（モ
リ）ノミクス」と連動した緑の循環シ
ステムの構築を目指し、「育てる林業」
から「使う林業」への転換を図ってま

まいります。

また、今年の夏には、山形県、宮城県、
福島県を会場に南東北インターハイが
開催されます。その中において、本町
は「女子ソフトボール競技大会」の会
場になり、各都道府県から48チームが
来町し競技が行われます。昨年12月に
は、競技会場となるソフトボール場の
改修工事も完了いたしました。平成4
年に開催された「べにばな国体」と同
様に、町全体がたくさんの感動にあふ
れ、全国各地から訪れる選手・応援の
皆様に「白鷹町にまた来たい」と思っ
ていただけるような大会となるよう、
温かい「おもてなし」の精神で準備を
進めてまいりますので、皆様のご協
力をお願いいたします。

そして、本年は第5次白鷹町総合計
画後期基本計画ならびに白鷹町まち・
ひと・しごと創生総合戦略に基づくま
ちづくりの折り返しを迎える年でもあ
ります。引き続き「子育て教育」「雇用・
産業」「地域」「防災」の4つの柱を重
点に将来のまちづくりの基盤を着実に
整備し、「日本の紅（あか）をつくる町」
白鷹町として、皆様から愛される町を
目指してまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして飛
躍の年となりますよう心から祈念申し
上げ、年頭のごあいさついたします。